

# 平成30年度 まちかどミーティング町内会からの要望事項

音羽町・木場町地区

平成30年8月28日（火） 住吉コミュニティセンター

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
1	<p><b>【鹿による冬から春にかけての被害】</b> 住吉泉町内会</p> <p>(1) 鹿の出没 1月あたりから町内及びその周辺に野生の鹿の出没が報告。 平成29年度は今野商会・ローソンまで通り4月下旬までの出没。 平成30年度はさらに南側住吉コミセン・住吉公園・公営住宅周辺。 平成31年度は双葉町への出没が考えられる。 1頭での出没・5頭程度の群れでの出没。</p> <p>(2) 被害 庭木の枝・皮の食害（各家庭庭木にネットを張っての自衛手段）。 春にはチュウリップの球根が町内全滅。 鹿が出没した場所には大量のフン。</p> <p>(3) 対策 町内に出てきた鹿は冬期間の餌を求めて範囲を広げて出没しています。町中に出てきた鹿の駆除をお願いしたい。</p>	<p>エゾシカの市街地への侵入は、平成20年頃から山林に近い住宅地の全てで増加しております。 その原因は、</p> <p>① 北海道西部の推定生息数は平成12年に12万頭だったものが10年後の22年には約3倍の34万頭に急増し、山林で餌の確保ができなくなった。</p> <p>② 農地の柵囲いや捕獲の強化で居場所を失い、市街地に逃げこむと、餌もあり、銃やワナで追われないため、安全な場所と認識した。 などが考えられます。</p> <p>本市に限らず他市町村でも、エゾシカの市街地侵入を阻止すること、侵入した鹿を安全に効率よく捕獲することは困難であり、対策に苦慮しております。</p> <p>28年3月現在、生息数は26万頭まで減少しておりますが、今後も増加する以前の状態まで減少させるよう国・北海道と連携して捕獲等事業を続けてまいります。</p> <p>また、市街地への侵入数を減少させる方策についても、さらに調査・検討してまいります。</p>	B	環境衛生部 環境生活課

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
2	<p><b>【カラスの巣の件】</b> 住吉泉町内会</p> <p>今年はカラスの巣周辺での攻撃が多く聞かれる。 注意書きの設置。カラスの巣立ってからの巣の撤去等助かっています。 しかし、カラスの子育て中の人への攻撃は恐ろしいの一言です。 町の中のカラス対策を今以上に何とかしていただけないか。</p>	<p>当課では、市民から巣の目撃や攻撃の通報をいただいた場合に、状況に応じて現地調査及び土地の管理者等への連絡、対処方法の説明等を行っております。</p> <p>しかし、営巣中のカラスが全て人を襲うわけではなく、7割程度のカラスは静かに巣立っていきますが、これまで襲わなかったカラスでも一度ヒナを取られると、翌年からは攻撃をするようになってしまいますので、取れば取るほど攻撃をするカラスの割合は増えるという悪循環にもなっております。</p> <p>また、これまでの営巣情報から言えるのは、住宅地内での営巣には片寄りがあり、餌となるものが多い地区では営巣数も多くなる傾向があります。</p> <p>ごみステーションやペットの餌などの管理に御協力いただきますようお願いいたします。 (環境生活課)</p> <p>市道の街路樹や公園内にカラスの巣があり、親鳥が人を襲う状況を確認した場合に限って、巣とヒナを撤去しております。その他、ヒナが巣立ちの練習中で捕獲できない場合には、注意看板の設置をしております。カラスが襲ってくる状況を確認した際には緑地公園課 (TEL 32-6509) または環境生活課 (TEL 32-6331) まで御連絡をお願いいたします。 (緑地公園課)</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>環境衛生部 環境生活課</p> <p>都市建設部 緑地公園課</p>

要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
3	<p><b>【信号機設置の件】</b>  <b>スプリングス高丘自治会</b></p> <p>スプリングス高丘から泉町アッペナイ道線へ出る交差点に信号機の設置を要望致します。</p>	<p><b>【ミーティング開催時回答】</b>  信号機の設置につきまして、平成30年度も継続して要望しておりますが、状況といたしましては、道内における新設信号機の設置数は年間数基と非常に厳しい状況であり、早期の信号機設置については難しい状況との事でございますので、当面の安全対策といたしまして注意喚起看板を設置し、安全対策を図ってまいりますので御理解をお願いします。該当箇所は本市の要望項目においても重点箇所の位置付けでございますので、朝夕の時間帯での交通量調査の実施し、そのデータを提出するなど要望の在り方を検討するとともに、北海道市長会や市からの重点要望として交通安全施設整備に対する財源の確保を国、北海道に要望してまいります。  今後も信号機設置に向け要望を継続していくとともに、地域と協議しながら市として対応できる安全対策を図ってまいりますので、御理解をお願いいたします。</p> <p><b>【平成31年3月末時点回答】</b>  <u>平成31年3月13日に苫小牧警察署を介し北海道公安委員会へ要望致しました。</u>  <u>関係部と協議しドット線の更新をいたしました。</u></p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>市民生活部 安全安心生活課</p>
4	<p><b>【交通渋滞緩和の件】</b>  <b>スプリングス高丘自治会</b></p> <p>苫小牧中央インターチェンジ開通後アッペナイ道線より国道276へ出る際にスムーズに交通出来るか心配しています。</p>	<p>中央ICの開通に伴い、国道276号の周辺の接続路線などに含め、今後の動向を注視し、市の関係部局と連携を図り、国や道、苫小牧警察署の関係機関などと交通安全対策について継続的に協議してまいります。</p>	<p>B</p>	<p>市民生活部 安全安心生活課</p>